

遊べる・学べる

おうみ

淡海子ども食堂

ガイドブック





【目次】

1. 遊べる・学べる淡海子ども食堂ってなに? 1
2. 子ども食堂の一日 2 ~ 3
3. 子ども食堂の開設まで 4
4. 子ども食堂を始めるためのヒント 5 ~ 11
5. 子ども食堂 これ、だいじ★ ~安心と安全のために~
 - ・保険について 12 ~ 13
 - ・衛生管理のポイント 14 ~ 15
 - ・食物アレルギーについて 16 ~ 17
 - ・営業許可について 18

資料編

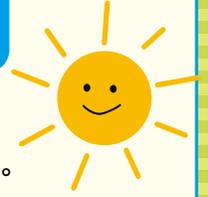
- I. 子ども食堂のあゆみと実施状況 19 ~ 21
 - II. 子ども食堂 MAP 22 ~ 24
 - III. 子ども食堂リレートーク 25 ~ 27
- 滋賀からのメッセージ 28
- 子どもの笑顔はぐくみプロジェクト 29
- 相談先一覧（県内社会福祉協議会） 裏表紙

※ 冊子の中で紹介している子ども食堂の写真やチラシは、実施団体より掲載許可をいただいたものです。





1. 遊べる・学べる淡海子ども食堂ってなに？



「遊べる・学べる淡海子ども食堂（以下、子ども食堂）」は、“ごはん”を通じて地域ぐるみで子どもを見守り育てていく、垣根のない居場所です。食堂をきっかけにさまざまな世代がつながり、困っている人を放っておかない、あたたかいまなざしがあふれる地域づくりをめざしています。

子どもたちが安心できる人たちと出会い、みんなで囲むあたたかいごはんや勉強・遊びを通して、地域のなかで大事にされて「ほっ」と安心できる食堂を、皆さんの思いと工夫でつくっています！

遊べる・学べる淡海子ども食堂で大事にしたいこと

① 子ども一人ひとりを大事にする場所として

地域の宝である子どもたちを地域で見守り、育む場所として、子どもたち一人ひとりを大事にして取り組むことが大切です。

② 子どもが遊びや学びを通して育まれる場をめざして

子ども食堂は、子どもたちがごはんを食べるだけの場所ではありません。大人たちにあたたかく見守られながら、子どもたちが安心して過ごせる空間で、遊んだり、宿題をしたり、体験したりできる居場所にしていきましょう。

③ 子どもを見守り育む地域の仲間づくり

子どもと遊ぶ人、子どもに勉強を教える人、ごはんをつくる人、食材を提供する人、お金でサポートする人、物資を提供する人、子ども食堂に子どもを誘う人・連れて来る人、子どもの行き帰りを見守る人、子どもを支援や制度につなぐ人等々、さまざまな人が子どもを見守り育てていくために「まずはできることから」やっていく、“地域の応援団”をつくりながら取り組むことで、豊かに長く続けられる活動になります。

子ども食堂は地域の食堂です。地域の人々がつながり、気付き、助け合える仲間づくりの場でもあります。

④ さびしさやしんどさを抱える子どもも来られるように

さまざまな理由から夜にごはんを1人で食べている子、学校に行きづらくなっている子等、人のあたたかさを感じられずに過ごしている子どもたちがいます。子ども食堂がだれにとっても気軽に来ることができて、安心して過ごせるあたたかい居場所となるように、地元の社会福祉協議会と相談や連携をしながらすすめていきましょう。





2. 子ども食堂の一日

- ★子ども食堂での一日の過ごし方は、それぞれの食堂でいろいろな工夫がされています。
- ★食堂の規模や場所、時間帯によってもさまざまですが、ここでは一例を紹介します。

A食堂の場合

開催時間帯
平日の夜～

宿題も
難しいところは
教わりながら♪



(楽しい放課後 心)



スタッフ集合!

15:30 今日の流れを確認し、子どもたちのごはんの下準備を始めます。



こんばんは!おかえり!

16:30 子どもたちが、宿題などを持って少しずつ集まってきます。



遊ぼう!学ぼう!ごはんをつくろう!

17:00 持ってきた宿題をしたり、みんなで遊んだり、ごはんづくりを手伝ったり…

今日はどんな
お話かな～?



(にじのいえ)

「いっぱい
食べや〜♪」



(多文化子ども食堂)



いただきます-!

18:00 みんなで食べるとおいしいね!

いつもおいしい
ご飯をありがとう



(八日市おかえり食堂)



ごちそうさまでした!

19:00 お迎えに来てもらったり、スタッフが家まで送ったりして帰ります。



(アモーレ子ども食堂)

別日

ミーティング

次回のメニューを試作したり、前回の振り返りをしたり、気になった子どもの様子を共有したりしています。



B食堂の場合

開催時間帯
土日の昼



おはよう!

11:00 少しずつ子どもが集まり出し、勉強をしたり、外で遊んだり、ごはんづくりを手伝ったり…



(みんなの食堂ひとやすみ月ひとやすみ)



(こども食堂「元気っ子広場」)

手遊び歌
「手洗いのうた」で
みんな楽しく勉強



いただきます!

12:00 みんなでいただきます!



(西出こども食堂)

みんなで食べると
おいしいね♪



(日吉台こども食堂)



遊びと学びの時間

13:00 地域の方と一緒に遊んだり、宿題をしたり、スタッフの方が考えた企画をみんなで楽しんだり、ほっと楽しい時間を過ごします。



お片付けもお手伝い!

14:00 片付けのお手伝いをする子、そのまま遊ぶ子、帰る子、それぞれ自由に過ごします。



(田上っ子食堂)



振り返り

15:00 「今日みんなモリモリ食べてたなあ」、「こんなことがあったんやけどどう伝えていこうか」とスタッフで振り返りをしたり、「今度はあれしたいな～これしたいな～」を子どもたちと一緒に話しながらか画したりしています♪



(緑のはらべっこ食堂)



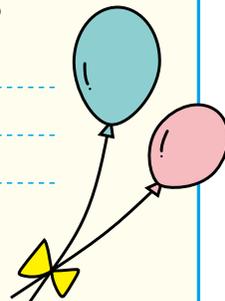
3. 子ども食堂の開設まで

子ども食堂を始めてみたいな、 もっと知りたいなと思ったら・・・

- 「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト」ホームページをのぞいてみる

子どもの笑顔はぐくみプロジェクト

検索
- 一緒に考えて、取り組んでいく仲間を探してみる
- 仲間と、どんな子ども食堂にしたいか話をする
- 地元の社会福祉協議会（社協）もしくは
滋賀県社会福祉協議会（県社協）に相談する
- 実際に取り組んでいる子ども食堂に見学に行ってみる
- まずは、一度やってみる！（お試しやプレオープンでも大丈夫）



～子ども食堂を始めるまでに決めておきたいこと～

（参照ページ）

- 開催場所 p.5
- スタッフの募集 p.5
- 子どもたちへの周知・案内の方法 p.6
- 参加対象 p.6
- 料金設定（子ども・大人） p.8
- 運営費 p.8
- いつ実施するか（頻度・曜日・時間帯） p.9
- 子どもたちの行き帰りのこと p.9
- 食事のメニュー p.10
- プログラムの内容 p.11
- 保険の加入 p.12～13
- 衛生管理 p.14～15
- 食物アレルギーの対応 p.16～17

などを仲間と相談して決めておきましょう。
詳しくは5ページからのヒントをチェック！





4.

子ども食堂を始めるためのヒント

～実施されている方に工夫のポイントや気をつけていることについてお聞きしました～

(それぞれの食堂の状況に応じて、参考にしてください。)



Q1. どこで開催しているの？

A食堂

地元の公民館を借りています。他の団体が借りていると使えなかったり、使用に制限がある場合があったりもしますが、地域のみなさんが知っている場所なので、安心して来てもらえています。

B食堂

自宅で空いているスペースがあるので、そこを開放しています。入れる人数に限りはありますが、アットホームな雰囲気です。

C食堂

今は空き家となっている家の持ち主の方から使っていいよとっていただいたので、そこをお借りしています。

★その他にも、地域の自治会館やコミュニティセンター、団体の活動拠点で実施していたり、社会福祉施設やお寺などをお借りしたりしているところもあります。
⇒ p.21 グラフ参照

Q2. スタッフやボランティアはどんな人たち？

A食堂

協力してもらえそうな人に、直接声をかけています。あて職など強制感があると、続けてもらうのもしんどいと思うので、子ども食堂の趣旨を理解して、やりたいと思ってくれる人に協力をお願いしています。

B食堂

地元の中학생や高校生、大学生にも、子どもたちの遊び相手や勉強のサポートなどで協力してもらっています。

C食堂

健康推進員さんに、調理ボランティアとして協力してもらっています。栄養面でもアドバイスしてもらえます。

D食堂

民生委員・児童委員のOB・OGを中心にグループを作りました。他にも地域の方にボランティアとして協力してもらっています。

E食堂

運営委員会形式で、自治会の方や民生委員・児童委員さん、商店の方など、いろんな立場の人に入ってもらい、一緒に企画をしています。

★ p.7 コラム1～スタッフについて～





Q3. 子どもたちへの周知・案内や対象はどうしている？

A食堂

保育園や小学校、放課後児童クラブなどを通じて、子どもへの声かけを行っています。対象を限定すると、参加しにくいのではないかと思います、対象を限定せず、地域の子どもならだれでも来られるような場としています。

B食堂

自治会内に住んでいる子どもを対象にしているので、自治会の回覧板で案内をまわしたり、ゴミ収集所にチラシを貼ったりして声かけをしています。

C食堂

子どもにお願いしています。口コミで伝えてもらったり、地域のリーダー格の子どもに誘ってきてもらったりしています。

D食堂

「誰でもおいで」とはしていますが、行政や社協、民生委員・児童委員さんにもご協力いただき、気になる子どもには直接声かけをしてもらっています。

E食堂

対象を子どもに限定せず、一人暮らしのお年寄りや子どものお父さん、お母さんなど、誰でも来られるような居場所として開設しています。世代間交流の場にもなり、お年寄りの方から遊びや勉強を教えてもらえる場所にもなっています。

F食堂

チラシの他、SNSでも開催日などの告知をしています。また、参加してくれた子どものお母さんなどがSNSで広めてくれることもあります。





Q4. 参加者は事前に把握している？

A 食堂

申込制にすると参加のハードルがあがってしまうのではないかという思いから、申込はとっていません。当日受付で名前や連絡先などの必要事項を確認しています。



B 食堂

食事が足りなくなると困るので、事前に申込をとっています。

C 食堂

申込をとっていますが、当日参加も OK にしています。申し込んでいるのに当日来ないと心配なので、申込時には保護者の連絡先も必ずもらうようにしています。



コラム column ①

～スタッフについて～

「子どもたちが思いきり遊べるように、子どもたちと年の近い学生さんや、若いスタッフに来てほしいな…」そんなときは、地域の中学生や高校生を誘ってみてはいかがでしょうか？

「小学生の間は地域の活動に出やすいけど、中学生になった途端参加しにくくなってしまった、頼りにしてもらえたら行きやすいのにな」そんな中学生の声を聞いたこともあります。学校とは違う形で子どもたちが活躍できるひとつの場になる可能性もあると思います。また、スタッフとして活躍しているお兄さん・お姉さんの姿を見て、小学生の子どもたちも「次は自分がやるんや！」と、関わり続けてくれるきっかけにもなるかもしれません。

コラム column ②

～子どもたちへの呼びかけについて～

「子ども食堂を必要としている子が来てくれているのかな？」という声を聞きますが、その場所に毎回来てくれる子どもがいるなら、その子はその場所を必要としているのだと思います。いろんな子どもや家庭に情報が届くように、「子ども食堂がある」ということを地域の大人や関係機関に知っておいてもらうことも大切です。

小学校と連携してチラシの配布を行っているところもあります。継続していくうちに、少しずつ子どもたちや地域の方の口コミでひろがってきた！という声もよく聞きます。





Q5. 料金設定はどうしている？

A食堂

子どもは無料、大人（参加者・スタッフ）からは協力金として300円いただいています。金銭的なしんどさを抱えている子どもも参加しやすいようにという思いから、子どもは無料にしています。

B食堂

子どもからは100円もらっています。少しでもお金をもらわないと、継続していくことが難しいですし、お金を払う方が参加しやすいからです。子どもがお金を払うのが難しい場合は、スタッフの判断で無料にしていることもあります。

D食堂

基本的には100円にしていますが、子どもはお手伝いをしたら無料にしています。

C食堂

子どもは100円、大人は300円にしていますが、参加者自身で箱にお金を入れてもらって、誰が入れたかはわからないようにしています。

E食堂

一人100円で、食券制にしています。事前にまとめて購入してもらうこともできますし、参加しやすいように食券を渡してお誘いすることもできます。



Q6. 運営費はどうしている？

A食堂

地域のみなさんに賛助会員になっていただいて、一口1,000円で応援団になっていただいています。日頃の活動の状況などもお伝えしています。

B食堂

地域にあるお店に募金箱を置いていただいたり、企業に協賛をお願いに回ったりしています。お金だけでなく、食材や備品などを提供していただけることもあります。

C食堂

参加費の他、自治会で子ども食堂のために予算を組んでもらいました。

D食堂

地域の方から野菜やお米など食材を寄付していただいているので、参加費で運営できています。

E食堂

フリーマーケットや地域のイベントなどに店を出して、その売上を子ども食堂の運営費にしています。





Q7. 子ども食堂はいつ実施している？行き帰りは？

A食堂

子どもたちが一人でも来られるように、土曜日の昼間に開催しています。すでに活動の場を持っている子どもにとっては忙しい時間帯ですが、予定のない子どもたちは、休みの日に予定が入ることを喜んでくれています。

B食堂

給食のない、長期休みに毎週開催しています。宿題もみんなで一緒にやっています。



D食堂

平日の夜の開催で送迎をしていないので、帰り道が暗いことが心配でしたが、行政に働きかけて街灯を増やしてもらったり、近隣の方が外に出て子どもたちが帰のを見守ってくださったりしています。

C食堂

平日の夜に実施しています。夜まで友だちと一緒に遊べるのが、とても楽しいようです。帰りは暗いので、保護者の方にお迎えに来てもらうようにしています。

コラム column ③

～開催日について～

平日の夜や土日の昼間など、子ども食堂によって開催日はバラバラですが、毎月1回でも、決まった日・曜日に開催される子ども食堂であると、地域の中でも定着し、子どもたちにとっても居場所だと感じられるようになります。また月1回、定期的に開催されることで、顔見知りになり、食堂以外の場所でも「食堂のおばちゃんや！」と、子どもたちから声をかけてくれたり、「今日は元気ないけど、どうしたん？」と変化に気づけたりといった、あたたかい関係が生まれる場所にもなってほしいと願っています。

また、学校の給食がなくなり、学校で毎日見守ってもらえることが途切れる長期休暇に、週1回程度開催される食堂もあります。書初めや自由研究などの宿題を地域の方に教えてもらいながら取り組むこともできますし、長期休暇中に子どもだけで安心して出掛けられる場所があることも大事なことだと思います。





Q8. 食事のメニューはどうしている？

A食堂

メニューは、毎回子どもにリクエストを聞いて、決めていきます。

C食堂

長続きできるように凝ったものではなく、子どもたちが喜ぶ簡単でおいしいものを作るようにしています。

E食堂

季節感も大事にしながら、スタッフで話し合ってメニューを決めています。また、その時々いただいた食材で一品作ることもあります。

B食堂

続けやすいので、毎回カレーです。旬の野菜を入れたり、季節の行事に合わせてトッピングを工夫したりしています。また、カレーだと数の調整もしやすいですし、作り方のバリエーションが少ないので、スタッフみんなで作りやすいです。

D食堂

子どもたちに野菜を食べてほしいと思って、野菜を使った料理をたくさん作っていましたが、最初はなかなか食べてくれなかったです。毎回少しずつ出して、「食べられる分だけ食べてね」と声かけをしていたら、他の子どもがおいしく食べているのを見て、少しずつ食べられるようになった子どももいます。



(宇川みんなのはなまる食堂)



(西山子ども食堂あかね)

ちょこっと紹介！

食物アレルギー対応レシピ

「みんなと一緒に同じごはんを食べたい！」これは、食物アレルギーをもつ子どもたちの思いです。

食物アレルギーの特定原材料28品目を除去した、みんなで食べられるレシピを紹介します。「食物アレルギー」についての詳しい情報や対応の仕方についてはp16~17をチェック！

わたしの子ども食堂の“イチオシ”レシピ

子ども食堂のみなさんが実際に作っておられる“イチオシ”メニューを教えていただき、レシピ集をつくりました。

「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト」ホームページからご覧いただけます。



卵・乳・小麦を使わないでつくれる！

お好み焼

- 材料
 キャベツ(粗みじん切り)…300g
 青ねぎ(小口切り)…2本 豚バラ肉…8枚
 水…150cc
 ★お好み焼きたこ焼きの素2人前…1袋
 (7大アレルギー不使用)

★卵・乳・小麦を使わず、加える水の量を変えることでお好み焼(2枚分)、もしくはたこ焼(約16個分)が作れる、ソース付のセットです。



●作り方

1. ポウルに水(150cc)、キャベツ、青ねぎを入れ、その上から「粉」をふりかけ、箸などでよく混ぜる。
2. ※広げる厚さがポイント！160℃に熱したホットプレートに、生地を厚さ1.5cmになるように広げて焼き、豚肉をのせる。(4分)
3. ひっくり返してフタをして蒸し焼き。(3分)
4. 再度ひっくり返して蒸気をとばす。(2分)
5. 皿に盛り、「特製ソース」をかけて完成。お好みで青ねぎをトッピング。



(オタラクソース株式会社提供)

各食品メーカーが販売している、食物アレルギーの人が選べる・使える加工食品も増えてきています。これらをうまく活用し、正しく調理すれば、子ども食堂で食物アレルギーをもつ子どもたちもみんなと一緒に食べられます。





Q9. 「遊べる・学べる」とあるけれど、みんなどんなことしてる？

A食堂

地域のボランティアさんに、紙芝居をしていただいたり、昔の遊びを教えていただいたりしています。

B食堂

子どもたちと一緒に料理をしています。食事の作り方をすることも学びの一環です。

D食堂

子どもたちは自由に遊んでいます。回数を重ねるにつれて、異年齢でも子ども同士で遊ぶようになってきました。自分たちで何をするか考えて遊ぶことも、大切な学びだと思います。

C食堂

夏休みの自由研究や、冬休みの書初めなど、学校からの宿題をみんなで一緒にすることもあります。

E食堂

あいさつや食前に「いただきます」と手を合わせるなど、食事のマナーや地域の文化を伝えることも大切だと思っています。



みんなで一緒に手品戸
(日野こども食堂 ひまわりカフェ)



ストーンアートに挑戦♪
(わつなぎ食堂)



紙芝居今日のお話は何かな♪
(にじの家サロン
こども食堂&寺子屋)



みんなでボッチャに挑戦戸
(菩提寺「すくすく食堂」)

ちょこっと紹介！

地域の郵便局が子ども食堂を応援！

県内のすべての郵便局が、地域の子どもの食堂を応援してくださっています。郵便局の特色を生かし、絵手紙やクラフトハガキづくり、消しゴムハンコづくり等のイベントを通して子ども食堂を盛り上げながら、子どもたちに手紙を送る楽しさを伝えてくださっています。日頃から地域で配達や窓口業務をされている局員さんと子どもたちが子ども食堂を通じて顔見知りになれることは、心強いですね。



郵便バイクに乗って撮影会も！



★滋賀県社会福祉協議会と県内のすべての郵便局(230局)は、令和元年9月10日、ともに地域の子どものたちをはぐくむ取り組みをすすめるために包括連携協定を締結しました。





5. 子ども食堂 これ、だいじ★ ~安心と安全のために~



保険について

子どもも大人もいろんな方が参加する子ども食堂では、調理の場面や遊びの場面などで、「あつ危ない!」とドキッとするようなこともあります。

子どもが安心して参加することができる、周りの大人が安心して「行っておいで」と言える場所であるために、参加者のけがや食中毒、熱中症などに広く対応できる保険に加入することが大切です。ここでは、広く対応できる保険のひとつとして、全国社会福祉協議会の保険を紹介します。

1. どの保険に入ればいいのか?

ボランティア行事用保険とは…

地域福祉活動やボランティア活動の一環として日本国内で行われる各種行事が対象です。その行事の参加者、主催者全員が保険の補償を受けられるものです。(主催者や参加者のけが、食中毒、熱中症等と、主催者の賠償責任(主催者責任)が補償されます)

子ども食堂をする際には、このような参加者に広く対応できる保険に加入してください。

★加入は Aプランか Cプラン

ボランティア行事用保険は、Aプラン・Bプラン・Cプランがあります。子ども食堂で加入する場合は Aプランもしくは Cプランになります。(Bプランは宿泊を伴う場合です)

~ Aプランと Cプランの違い ~

	Aプラン	Cプラン
保 険 料	1日1人28円(A1) ※子ども食堂は基本はA1	1日1人28円 ※A1 該当事業のみ加入できる
名 簿	事前に備付が必要	名簿の提出不要
往復途上の保障	あり	なし
最低保険料	20名分(560円)	20名分(560円)

※ Aプランの場合、名簿は行事が始まるまでに作成しておく必要があります。

事前申し込み制にしない場合など、当日参加が見込まれる場合は、Cプランに加入することをお勧めします。

詳しくは加入窓口等にご相談ください。

このほかに、ボランティアをする個人が対象となる「ボランティア活動保険」もあります。(右ページ参照) 活動保険は4月1日から3月31日まで年間で加入する保険です。ボランティア活動のための学習会や会議など、子ども食堂開催日以外にスタッフが活動を行う場合に対象となりますので、行事用保険に合わせて、スタッフは「ボランティア活動保険」に加入することをお勧めします。

詳しくは「ふくしのほけん」(<https://www.fukushihoken.co.jp/fukushi/front/top.php>) にパンフレットが掲載されていますのでご確認ください。

2. どこで加入できるの?

お近くの市町社会福祉協議会もしくは滋賀県社会福祉協議会で加入できます。

3. あってよかった! ボランティア保険~子ども食堂でのヒヤッと事例~

- ・調理室の床がぬれており、そこですべったボランティアさんが骨折してしまいました。
- ・お兄ちゃんのまねをして階段を幼児が駆け降りることがあり、いつもけがをしないかひやひやしています。
- ・子どもとバレーボールで遊んでいた時、ボランティアさんが後ろを向いたときに子どもがボールを投げ、メガネを割ってしまったことが。保険でボランティアさんのメガネを弁償することができました。

※令和2年度の情報を参照しています。年度により金額等が変更になることがあります。



全国200万人加入!! 日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料 (1名あたり)

商品パンフレットは
こちら



(ふくしの保険)
ホームページ

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金			1,040万円	
	後遺障害保険金			1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額			6,500円	
	手術保険金	入院中の手術			65,000円
		外来の手術			32,500円
	通院保険金日額			4,000円	
賠償責任の補償	賠償責任保険金(対人・対物共通)		×	○	
年間保険料			350円	500円	

団体割引 20%適用済 / 過去の損害率による割引適用

<基本プランに加入される方へ>

基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。

◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。

※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。二次被害への備えとしても、あらかじめ「天災・地震補償プラン」に加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

送迎サービス補償 (傷害保険)

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、パンフレット・詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事 保険会社〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137

受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

損保ジャパン日本興亜は、関係当局の認可等を前提として、2020年4月1日に商号を変更し、「損保ジャパン」になります。

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
営業時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

●この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。



これ、だいじ★

子ども食堂における衛生管理のポイント

手洗いや衛生管理は、感染症や食中毒を予防する基本的な生活習慣のひとつです。特に食中毒は、夏だけではなく一年を通じて注意が必要です。食中毒から身を守るポイントをご紹介します。

炊き出しのおにぎりによる食中毒・・・手洗い不十分（黄色ブドウ球菌）
バーベキュー時の加熱不足の肉による食中毒（カンピロバクター・O-157（腸管出血性大腸菌）
カキなどの2枚貝や感染した調理従事者の手指を介して起こった食中毒・・・ノロウイルスなど
加熱調理後に室温放置したカレーによる食中毒・・・ウェルシュ菌

<予防のポイント>

- ① 食品は十分に加熱すること
- ② 加熱調理後は、汚染されないよう清潔に扱うこと
- ③ 調理後は、早く食べる（30分以内）
- ④ 加熱しない食品（生もの）は避けること
- ⑤ アレルギー、異物混入に細心の注意を払うこと



滋賀の健康づくりの双子の妖精「ハグとクミ」

○ 手洗い

- ・食品衛生は『手洗いに始まり、手洗いに終わる』と言われ、手洗いには細心の注意が必要です。
- ・石けんで手を洗った後、逆性石けんで殺菌をする。
- ・洗い残しの多い「指の間、爪の間、親ゆび」を忘れずに



画像出典：政府インターネットTV

○ 調理中の留意事項

- ・エプロンで手を拭かない。
- ・トイレに行った後、鼻や電話を触った後などは再度手洗いをする。
- ・おにぎりは、ラップに包んで握り、直接手で食品に触れないようにする。
- ・加熱調理は、中心部まで十分に火をとす。（中心部を75℃で1分以上）
- ・調理から食べるまでの時間をなるべく短くする、10℃以下で保存するなど、細菌に増殖する機会を与えない。
- ・お弁当は、涼しいところで保管し、早めに食べる。
- ・飲用に適する水（水道水）を使用する。井戸水などの生水は使う場合は、塩素消毒や定期的に水質検査等を受けるなど注意する。





○ 設備および調理器具

- ・設備、器具は常に清潔に保つ
- ・まな板・包丁は食材（肉・魚・野菜等）で使い分ける。
- ・使用前、使用後は、しっかり洗浄する。
- ・まな板や包丁、ふきん等は、熱湯、消毒剤等で消毒し、乾燥させ清潔に保管する
（1枚のまな板の裏と表面を使い分けている方もいると思いますが、まな板が濡れていたら表面の汚れた水が裏に回ったり、ひっくり返しても下面が接する所が同じだったりすると、その場所が汚染されるので注意）
- ・器具は、洗浄および消毒（アルコールや次亜塩素酸ナトリウム入り消毒剤*商品名：ハイターなど）を行い、所定の場所に衛生的に保管する。
- ・台所やレンジまわりなどは常に整理整頓し、清潔にする

○ 次のような方は調理作業を避けましょう

- ・体調不良、下痢、腹痛、吐き気などの症状がある方
- ・家族に下痢や嘔吐の症状がある方
- ・手指に傷がある方（やむを得ない場合は、清潔なビニール手袋を使用して汚染を防ぎましょう。）

手の洗い方



① 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。



② 手の甲をのぼすようにこすります。



③ 指先・爪の間を念入りにこすります。



④ 指の間を洗います。



⑤ 親指と手のひらをねじり洗います。



⑥ 手首も忘れずに洗います。

出典：滋賀県食の安全推進室「ストップ・ザ・食中毒」

参考：「滋賀県食の安全推進室」、「東京都福祉保健局 食品衛生の窓」HP・リーフレット
作成：滋賀の縁創造実践センター（滋賀県社会福祉協議会内）平成 29年 5月



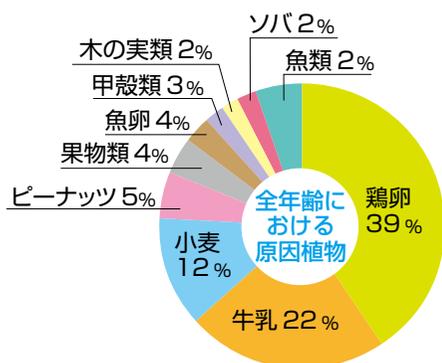


これ、だいじ★

食物アレルギーについて

食物アレルギーは、外から侵入してきた有害な異物に対して体を守るはずの免疫システムが本来は無害な食物に対して過剰に働いて起きる症状のことをいいます。2013年の調査によると全体の4.5%の児童がもっているとされていますが、人によってアレルギーの原因となるものやその症状は様々です。

Q. どんな食物でアレルギーになることが多いの？



表示の義務があるもの（特定原材料7品目）

頻度が高く重い症状が現れやすいもの

卵・乳・小麦・そば・落花生・えび・かに

表示の義務が推奨されているもの（特定原材料に準ずるもの21品目）

（義務ではないので表示されないこともあります）

あわび・いか・いくら・オレンジ・カシューナッツ・キウイフルーツ・牛肉・くるみ・ごま・さけ・さば・ゼラチン・大豆・鶏肉・バナナ・豚肉・まつたけ・もも・やまいも・りんご・アーモンド

Q. どんな症状が出るの？

多くの即時型症状は、食物を摂取して早ければ数分で、遅くても2時間以内に症状が現れます。もっとも多いのは、皮膚症状ですが、多彩な症状があります。

①皮膚

かゆみ、じんま疹、赤み

②目

結膜の充血、かゆみ、まぶたの腫れ

③くちやのど

くちやのどの中の違和感、イガイガ感

④鼻

くしゃみ、鼻汁、鼻づまり

⑤呼吸器★

声がかすれる、犬が吠えるような咳、ゼーゼー・ヒューヒューする（ぜい鳴）

⑥消化器★

腹痛、嘔吐、吐き気、下痢

⑦循環器★

脈がはやい、脈が不規則、唇や爪が青白い

⑧神経★

元気がない、ぐったり など

★印のついた「呼吸」「消化器」「循環器」「神経」の症状が見られた場合は、迅速な医療機関の受診が必要です。





～子ども食堂での考え方～

子ども食堂をするうえで大切になるのは、誤食防止です。食物アレルギーの対応をしないか、するかを事前に決めて、チラシ等に表記しておきましょう。スタッフも参加者も迷うことがなくなります。

対応をしない場合、対応をする場合、それぞれでの対応例をご紹介します。

①食物アレルギーの対応はしない

- ・間違っで参加して誤食がおきないように、チラシや入口に対応できないことを明記しましょう。
- ・参加者には、アレルギーの有無を確認しましょう。
- ・どんな食材が使われているのかを聞かれた場合に備えて、使用する食材の情報を開示できるように準備しておくことも大切です。
- ・アレルギーのある子ども（大人）が来た時には、個別の対応ができないことを伝えましょう。

②食物アレルギーの対応をする

- ・チラシや入口に、食材や調味料を確認できるように写真入りで情報を開示しましょう。
- ・事前に食べられるものと食べられないものを明確に確認してから受け入れましょう。
- ・体調不良や食後の運動で症状が出ることもあるので、緊急時用の薬を持参することを伝えましょう。
- ・原因食材混入防止のために調理器具やエリアを明確に分け、アレルギー対応食を作る人を決めておきましょう。
- ・使用する材料や調味料は複数で確認し、見落としや思い込みを防ぎましょう。
- ・使用する食器、テーブルなどの洗浄は丁寧にし、ふきんやスポンジの使いまわしはやめて、専用のものを用意しましょう。
- ・年に1度はアレルギー研修会に参加し、緊急時の対応法や最新情報を学びましょう。

★他にも、気を付ける点はたくさんあります！

食物アレルギーに対応することを決める時には、下記の相談先に問い合わせてみましょう。

相談先

「子どものアレルギー情報センターしが」のホームページに相談窓口があります。
<http://www.pref.shiga.lg.jp/mccs/shinryo/hokenshido/arerugi.html>

参考資料 (いずれもインターネットからダウンロードできます)

- ・ぜん息予防のためのよくわかる食物アレルギーハンドブック 2014 (独立行政法人 環境再生保全機構)
https://www.erca.go.jp/yobou/pamphlet/form/00/archives_24514.html
- ・食物アレルギーを持つ子どものヘルシーレシピ (独立行政法人 環境再生保全機構)
<https://www.erca.go.jp/yobou/zensoku/allergy/recipe/index.html>
- ・食物アレルギーの人の食生活を豊かにするために 13 社共同食品カタログ 2019 (認定 NPO 法人アトピっ子地球の子ネットワーク)
<https://www.atopicco.org/topic/1352132019.html>

食物アレルギーがあることで、外食をしたり、みんなで一緒にご飯を食べたりする機会が制限されることもあります。安全な場で一緒に食事ができる機会はとても大切です。

アレルギーについての研修会等に参加し、正しい知識をもったうえで、「行きたい」と思う子どもがいれば参加できるように、スタッフみんなで考える機会にしていだければと思います。

監修 / 滋賀県立小児保健医療センター 小児科アレルギー外来担当 楠 隆先生
 看護師 笹畑 美佐子さん (子ども食堂スマイルシード代表)
 ※子ども食堂スマイルシード…アレルギーの専門医療スタッフが実施する子ども食堂です。





これ、だいじ★

食品衛生法の営業許可について

「子ども食堂」でも食品衛生法による
営業許可が必要？

1. どんな場合に食品衛生法による営業許可がいるの？

以下のいずれかに当てはまる場合は「営業」にあたり、
許可が必要です。

- ① **業として** 食品を製造、調理する場合
(食事の料金に関係なく、社会的に『飲食店』とみなされる場合など)
※無料であっても営業許可が必要な場合もある。

★主目的が子どもの居場所（勉強や遊びの場）、開催頻度が反復継続するものでなければ「業として」には当たりません。

- ② **不特定多数** の人に食事を提供する場合
(誰にでも制限なく、訪れた人すべてに食事を提供する場合など)

★対象について範囲が定められており（○○小学校の児童、○○自治会の子どもなど）名簿等で管理されていれば「不特定多数」には当たりません。

2. 営業許可についての相談はこちら★



営業許可を受ける場合は、専用の施設を設け、調理場に手洗い設備や2槽以上のシンクを設ける等、許可基準に合致する設備で、保健所の確認検査を受けることが必要です。
まずは、最寄りの保健所に相談してみましょう。

草津保健所	077-562-3549	甲賀保健所	0748-63-6149
東近江保健所	0748-22-1266	彦根保健所	0749-21-0284
長浜保健所	0749-65-6664	高島保健所	0740-22-3552
食の安全推進室	077-528-3643	大津市保健所	077-522-8427

「子ども食堂」で食中毒が発生しないよう 食品の取扱いには十分注意しましょう！

食中毒の予防に関する情報等については、滋賀県食の安全情報ホームページを
ご覧ください。『ストップ・ザ・食中毒』

(<http://www.pref.shiga.lg.jp/e/shoku/01anzen/center/401stop00.html>)



滋賀県 食中毒 ストップ

検索

滋賀県生活衛生課食の安全推進室、子ども・青少年局、大津市





資料編

I. 遊べる・学べる淡海子ども食堂の あゆみと実施状況 (令和2年2月現在)

1. 遊べる・学べる淡海子ども食堂のあゆみ

<p>子ども食堂開設数</p>	<p>平成 26年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・9月 滋賀の縁創造実践センター 設立 ・3月 遊べる・学べる淡海子ども食堂プロジェクトチーム設置
<p>16か所</p>	<p>平成 27年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・8月 遊べる・学べる淡海子ども食堂モデル事業募集開始
<p>62か所</p>	<p>平成 28年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「開設準備講座」をスタート 6圏域で開催 ・「子ども食堂交流会」2回開催 ・2月 「子ども食堂全国交流会inしが」開催
<p>95か所</p>	<p>平成 29年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「開設準備講座」7圏域で開催 ・「実践者研修会」4回開催 ・「子ども食堂交流会」2回開催 ・8月 『子どもの笑顔はぐくみプロジェクト』設立 (p.29参照)
<p>115か所</p>	<p>平成 30年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「知りたい!はじめたい!子ども食堂講座(旧:開設準備講座)」5圏域で開催 ・「実践者研修会」5回開催 ・8月 「みんなあつまれ!子ども食堂フェスタ」開催 ・「子ども食堂つながりネットワークSHIGA」設立 ・3月 「みんなあつまれ!子ども食堂大交流会」開催
<p>128か所</p>	<p>令和 元年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・8月 「みんなあつまれ!子ども食堂フェスタ2019」開催 ・「知りたい!はじめたい!子ども食堂講座」3回開催 ・「実践者研修会」2回開催 ・12月 「子ども食堂交流会」開催

それぞれの子ども食堂の自立性・自主性を尊重しながら、運営者同士の情報交換や交流などを通じて、子ども食堂の安心・安全と質の向上をめざすネットワークです。(事務局:県社協)

学びの場(研修会)やつながりづくりの場(交流会)を開催しているほか、企業や団体からのご寄付についての情報提供や、安心・安全に活動を続けられるようなサポート等を行っています。

★滋賀県内の子ども食堂みんなが参加できます。





1. 子ども食堂の あゆみと実施状況



2. 子ども食堂の実施状況（令和2年2月現在）

○ 活動の実施主体

子ども食堂の実施主体は、ボランティアグループ等の任意団体や、まちづくり協議会・自治会などの地域団体関係のグループが全体の約7割と多くなっています。

また、非営利法人や対象限定型のグループ、福祉施設（老人ホーム、保育園、障害者就労支援事業所、高齢者デイ等）での実施も増えてきています。

○ 開催頻度と開催日程

日常の活動になるようにと、月に1回以上開催されているところが多いです。他にも、長期休暇中に毎週開催するなど、各実施主体の無理のない範囲で、地域に合わせて開催されています。

開催日程は、子どもだけでも安全に参加できるようにと、土日の昼間に開催されるところが増えています。また、みんなでご飯を囲みだんらんの時間を過ごせるようにと、平日夜の開催も多いです。

図1 活動の実施主体

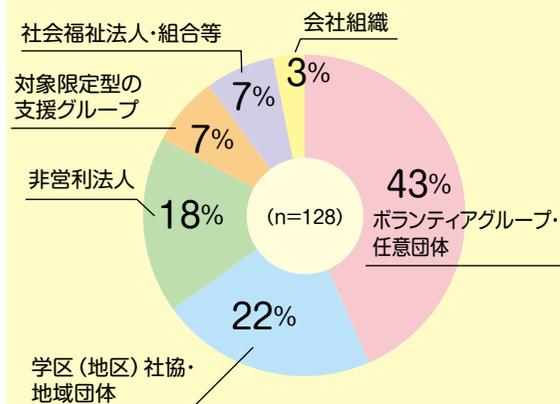


図2 子ども食堂の開催頻度



図3 子ども食堂の開催日程



★ ちょこっと活動紹介★

～講座や研修会の開催～

「これから子ども食堂を始めてみたい」「子ども食堂の話一度聞いてみたい」という方を対象にした『知りたい!はじめて!子ども食堂講座』や、子ども食堂を実際に運営している中で見えてきた課題に対して、実施団体がともに学び合う場として『実践者研修会』を開催しています。

また交流会も開催し、情報交換などとおして、子ども食堂同士のつながりが生まれる場にもなっています。



食堂同士の
情報交換★
毎回盛り上がり
ます。

食物アレルギーを
テーマに実践者
研修会を開催。



(写真はエビベンの使い方講習)





参加対象の範囲と参加人数

学区の範囲での開催が一番多くなっています。人間関係の距離感がほどよく、子どもたちも友達と誘い合って行きやすいようです。また、子どもたちが自分たちだけでも行くことができ、ちょうどよいにぎやかさで開催できる自治会範囲での開催も増えてきています。

参加人数は、参加対象の範囲がひろがると増える傾向にあり、学区で開催されると学校での子どもたちの口コミなどで参加者が増えるところも多いです。

図4 子ども食堂の対象範囲

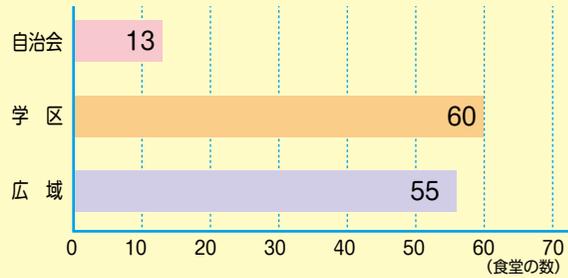
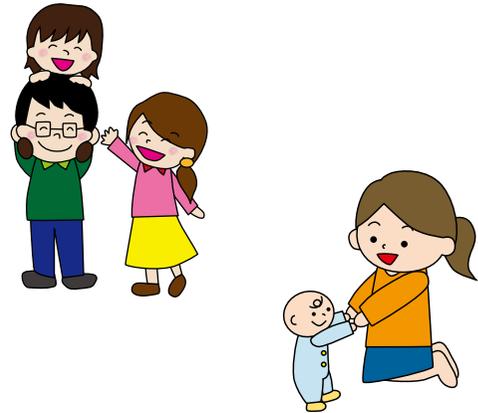
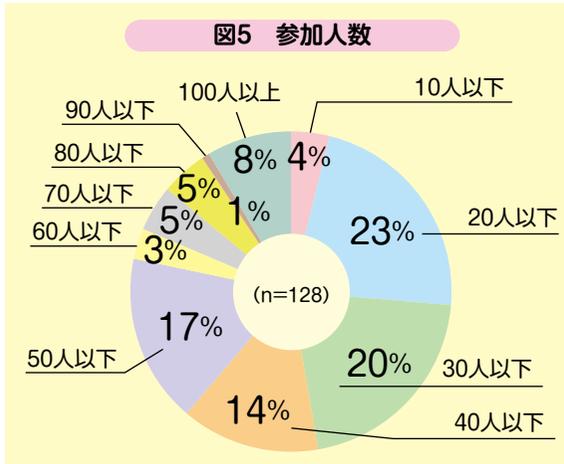


図5 参加人数

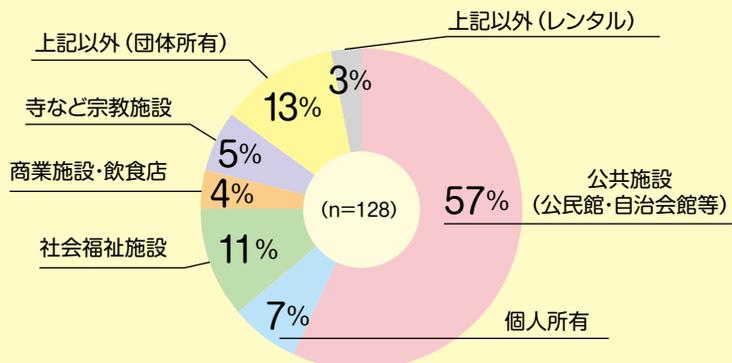


開催場所

地域のみなさんの知っている場所なので安心して来てもらいやすかったり、調理室などの設備が整っていたりすることから、公民館や自治会館などの公共施設で開催されるところが多くなっています。

他にも社会福祉施設や飲食店、寺などさまざまな場所で開催されています。

図6 開催場所

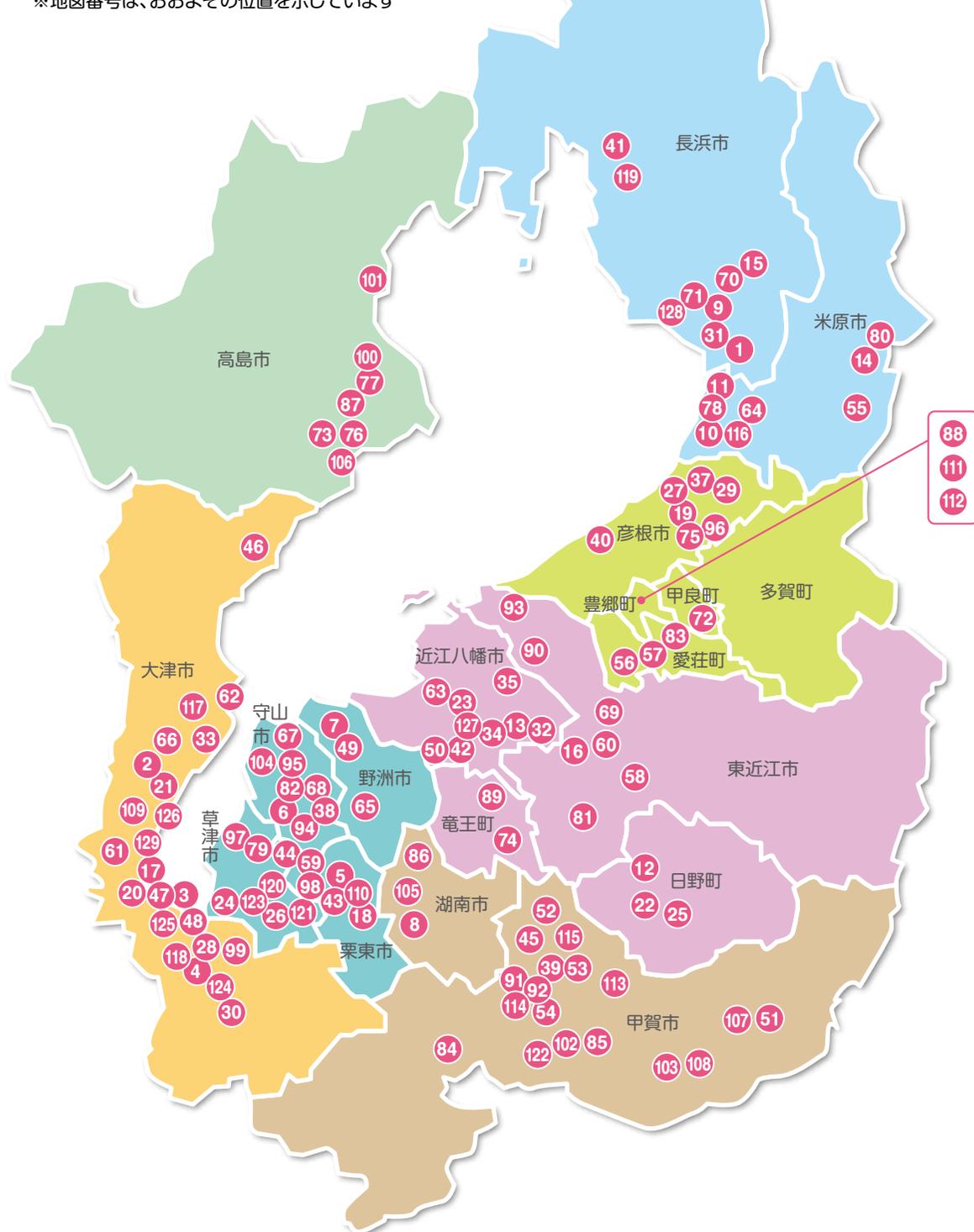




Ⅱ. 遊べる・学べる 淡海子ども食堂MAP

(令和2年2月現在 128か所)

※地図番号は、おおよその位置を示しています





↓子ども食堂実施団体のみなさんから、これから始めるみなさんへのメッセージを紹介します。↓
一度見学してみたり、実際にどこかの子ども食堂に参加されるというのでは。

きょうやん食堂【豊郷町】



上段：登録番号
下段：地図番号

1 ①	社会福祉法人グロー ながはま子ども食堂【長浜市】	23 ②③	八幡学区社会福祉協議会 はちまん 子ども食堂【近江八幡市】	45 ④⑥	冒険遊び場 小松プレーパークをつくる会 子ども食堂 ぼっば屋【大津市】
2 ②	社会福祉法人 真盛園 地域交流センター 老いも若きも おいわか子ども食堂「おいで屋」【大津市】	24 ④④	(有) 管材技研 だんらんの家 だんらんの家 子ども食堂【草津市】	46 ④⑦	ぜげ子ども食堂運営委員会 ぜげ子ども食堂【大津市】
3 ③	平野学区母子福祉のぞみ会 子ども食堂平野学区のぞみ【大津市】	25 ⑤⑤	一般社団法人 こそだてがめっちゃたのしくなる会 寺子屋食堂【日野町】	47 ④⑧	ZeZe まなびや 膳所子どもカレー食堂【大津市】
4 ④	NPO 法人 CASN 晴嵐みんなの食堂【大津市】	26 ⑥⑥	多文化共生支援センター 多文化子ども食堂【草津市】	48 ④⑨	ちゅうすこども食堂運営委員会 ちゅうすこども食堂【野洲市】
5 ⑤	はるにし子どもカレー食堂運営委員会 はるにし子どもカレー食堂【栗東市】	27 ⑦⑦	彦根市母子福祉のぞみ会 のぞみ子ども食堂【彦根市】	49 ⑤⑩	きりっ子食堂 運営委員会 きりっ子食堂 (桐原小学校) 【近江八幡市】
6 ⑥	NPO 法人スペースウィン 地域交流スペースかりん【守山市】	28 ⑧⑧	子育て Happy エンジェライト キッズカフェ・エンジェライト【大津市】	50 ⑤⑪	てるてるぼうず てるてるぼうず【甲賀市】
7 ⑦	ふたば・あすなる学級保護者会 ふたば・あすなる食堂【野洲市】	29 ⑨⑨	さわやま♡ほっとライン さわやま♡子どもほっとランチ【彦根市】	51 ⑤⑫	伴谷たんぼぼの会 たんぼぼ食堂【甲賀市】
8 ⑧	石部南学区まちづくり協議会 にぎわい広場【湖南市】	30 ⑩⑩	田上学区青少年育成学区民会議 田上っ子食堂【大津市】	52 ⑤⑬	綾野自治振興会 (綾野学区まちづくり協議会) あやの子ども食堂【甲賀市】
9 ⑨	長浜おやお劇場おひさまくらぶ おひさまくらぶ【長浜市】	31 ⑪⑪	食育ながはま元気っ子の会 こども食堂「元気っ子広場」【長浜市】	53 ⑤⑭	アモーレ子ども食堂 アモーレ子ども食堂【甲賀市】
10 ⑩	特定非営利活動法人 わっか わっか 子ども食堂【米原市】	32 ⑫⑫	スエバあちゃん食堂 スエバあちゃん食堂【近江八幡市】	54 ⑤⑮	社会福祉法人柏葉会 柏原保育園 かしわばらこども食堂【米原市】
11 ⑪	NPO 法人 Take-Liaison 湖北子ども食堂 「Liaison(リエゾン)」【米原市】	33 ⑬⑬	日吉台学区社会福祉協議会 日吉台 こども食堂【大津市】	55 ⑤⑯	とよくに子ども食堂 とよくに子ども食堂【愛荘町】
12 ⑫	NPO 法人スーブル ピースこども食堂【日野町】	34 ⑭⑭	社会福祉法人ほのぼの会 ほのちゃん食堂【近江八幡市】	56 ⑤⑰	島川ふれあい広場 島川ふれあい広場【愛荘町】
13 ⑬	むさっ子食堂運営委員会 むさっ子食堂【近江八幡市】	35 ⑮⑮	ホットフィールド子ども・若者支援 ヒューマンネットかんちゃんの小さな家 かんちゃんホットルーム【近江八幡市】	57 ⑤⑱	子ども食堂 あじと 子ども食堂 あじと【東近江市】
14 ⑭	一般社団法人 大野木長寿村まちづくり会 おおのぎ子ども食堂【米原市】	36 ⑯⑯	ビハーラ彦根 みんなの食堂「ビハーラ」【彦根市】	58 ⑤⑲	花明かり食堂 花明かり食堂【栗東市】
15 ⑮	北郷里子どもの居場所つくる会の会 こどもの居場所「まんま」【長浜市】	37 ⑰⑰	吉身東町自治会 子ども食堂ひがしっこ【守山市】	59 ⑥⑩	子どもカフェ あおぞら 子どもカフェ あおぞら【東近江市】
16 ⑯	おてんとさん 八日市おかえり食堂【東近江市】	38 ⑱⑱	特定非営利活動法人 地域で創る土曜日 夢の学習 「夢の学習」料理教室 水口【甲賀市】	60 ⑥⑪	NPO 法人 こどもソーシャルワークセンター e a t a l k【大津市】
17 ⑰	チームしらゆりボランティアの会 しらゆり子ども待合室【大津市】	39 ⑲⑲	特定非営利活動法人のびっこクラブ のびっこ子ども食堂「いしでら」【彦根市】	61 ⑥⑫	堅田の子を見守る《かたばみ》の会 かたばみ食堂【大津市】
18 ⑱	子ども食堂 R 北尾 子ども食堂 R 北尾【栗東市】	40 ⑳	きのもと子ども食堂 きのもと子ども食堂【長浜市】	62 ⑥⑬	NPO 法人ねご塾 みんなの食堂「おほりばた」【近江八幡市】
19 ⑲	特定非営利活動法人 Links かめの子ども食堂【彦根市】	41 ㉑	きりっ子食堂 運営委員会 きりっ子食堂 (桐原東小学校) 【近江八幡市】	63 ⑥⑭	KIDS レストラン虹 ボランティア運営委員会 KIDS レストラン虹【米原市】
20 ⑳	社会福祉法人滋賀県母子福祉のぞみ会 のぞみちゃん食堂【大津市】	42 ㉒	栗東市 BBS 会 栗東 BBS 子ども食堂【栗東市】	64 ⑥⑮	和田保護者会 和田子ども食堂【野洲市】
21 ㉑	若葉町自治会・ピアンネ 出会い食堂♡よっといで♡【大津市】	43 ㉓	しが健康医療生活協同組合 にじの家サロンこども食堂&寺子屋 【栗東市】	65 ⑥⑯	しが健康友の会 坂本民主食堂【大津市】
22 ㉒	日野こども食堂 日野こども食堂 ひまわりカフェ【日野町】	44 ㉔	柏木地区地域福祉協議会 かしわぎ☆わいわい食堂【甲賀市】	66 ⑥⑰	美崎つくし 美崎つくし【守山市】



気負うとできないのですが、楽しみたいという思いがあればできると思います。チームワークがあれば大丈夫！

かしわばらこども食堂【米原市】





67 68	そば宇宙 宇宙庵（ソラアン）【守山市】	89 90	社会福祉法人グロー / 社会福祉法人六心会 てんびんの里みなみ【東近江市】	111 112	NPO 法人とよさとまちづくり委員会 きょうやん食堂【豊郷町】
68 69	NPO こもれ日小田莉家 あじさい食堂【東近江市】	90 91	宇川みんなのはなまる食堂 宇川みんなのはなまる食堂【甲賀市】	112 113	いろどり食堂 いろどり食堂【甲賀市】
69 70	神照地区地域づくり協議会 かみてるこども広場【長浜市】	91 92	smile door smile door【甲賀市】	113 114	こども食堂サボテン こども食堂サボテン【甲賀市】
70 71	長浜地区地域づくり連合会 長浜まちなか子ども食堂【長浜市】	92 93	おかげ SUN のとが和 かふえ和（わっか）【東近江市】	114 115	みんなの食堂 ひとやすみ戸ひとやすみ みんなの食堂 ひとやすみ戸ひとやすみ 【甲賀市】
71 72	甲良町子ども食堂運営委員会 ぶくぶく食堂【甲良町】	93 94	ふらっと ふれあい食堂 ふらっと ふれあい食堂【守山市】	115 116	ばんばじゅく ばんばじゅく【米原市】
72 73	縁と絆 百円食堂 縁と絆 百円食堂【高島市】	94 95	今浜自治会 今浜ハッピーレストラン【守山市】	116 117	一般社団法人 楽育チッチ チッチ食堂【大津市】
73 74	西山ボランティアグループあかね 西山子ども食堂 あかね【竜王町】	95 96	任意団体 子ども食堂『にじのいえ』 にじのいえ【彦根市】	117 118	富士見学区社会福祉協議会 ふじみ「子どもサロン」【大津市】
74 75	NPO法人あおぞら あおぞら居場所作り【彦根市】	96 97	I.キャンパス 緑のはらべっこ食堂【草津市】	118 119	高月わくわく食堂 高月わくわく食堂【長浜市】
75 76	わつなぎの会 わつなぎ食堂【高島市】	97 98	石原産業株式会社 こども食堂りゅうりん【栗東市】	119 120	特定非営利活動法人 NPO 子どもネットワークセンター天気村 おいで子ども食堂【草津市】
76 77	新旭住民福祉協議会 新旭子ども食堂【高島市】	98 99	任意団体チエルキオ まごころレストラン【大津市】	120 121	株式会社すずらの郷 大路みんなのカレー食堂【草津市】
77 78	ひよっこ 子ども食堂 ひよっこ【米原市】	99 100	新旭駅前ふれあい食堂実行委員会 新旭駅前ふれあい食堂【高島市】	121 122	おいで！そまっ子運営委員会 おいで！そまっ子【甲賀市】
78 79	特定非営利活動法人 宅老所心 楽しい放課後 心【草津市】	100 101	児童育成支援の会 セカンドホーム未来 セカンドホーム「未来」【高島市】	122 123	特定非営利活動法人やんちゃ寺 やんちゃ寺食堂【草津市】
79 80	任意団体 あじっこ 冒険遊び場あじっこパーク【米原市】	101 102	ふか輪っ子 ふか輪っ子【甲賀市】	123 124	大津市里親会 石山わくわくひろば 石山わくわくひろば【大津市】
80 81	一般社団法人 がもう夢工房 こがも食堂【東近江市】	102 103	大原自治振興会 スマイル甲賀 大原っ子【甲賀市】	124 125	NPO グレースコミュニティサービス大津 勉強タイム & 子ども食堂(GOHANKAI) 【大津市】
81 82	スマイルシード 子ども食堂スマイルシード【守山市】	103 104	ネオベラヴィータ守山自治会 ネオベラ食堂【守山市】	125 126	子ども食堂「どんぐりの家」 どんぐりの家【大津市】
82 83	西出こども食堂 西出こども食堂【愛荘町】	104 105	福ふくランチ 福ふくランチ【湖南市】	126 127	蜜柑の木（みかんの木） 蜜柑みかん食堂【近江八幡市】
83 84	特定非営利活動法人 地域で創る土曜日 夢の学習 「夢の学習」料理教室 信楽【甲賀市】	105 106	高島住民福祉ネットワーク会議 まちあかりこども食堂【高島市】	127 128	子育て応援カフェ LOCO LOCO ごはん【長浜市】
84 85	特定非営利活動法人 地域で創る土曜日 夢の学習 「夢の学習」料理教室 甲南【甲賀市】	106 107	特定非営利活動法人 地域で創る土曜日 夢の学習 「夢の学習」料理教室 土山【甲賀市】	128 129	株式会社 まちおこし 野洲のおっさんこども食堂【大津市】
85 86	菩提寺まちづくり協議会 菩提寺「すくすく食堂」【湖南市】	107 108	特定非営利活動法人 地域で創る土曜日 夢の学習 「夢の学習」料理教室 甲賀【甲賀市】		
86 87	安曇川住民福祉ネットワーク 安曇川ふれあい子ども食堂【高島市】	108 109	社会福祉法人 唐崎福祉会 松の実みんなの食堂【大津市】		
87 88	豊かな郷子ども食堂 豊かな郷子ども食堂【豊郷町】	109 110	はるひが キッズカフェ はるひが キッズカフェ【栗東市】		
88 89	りんりんちょボラ りんりん JBC 食堂【竜王町】	110 111	NPO 法人とよさとまちづくり委員会 満ち家食堂【豊郷町】		



Ⅳ. 子ども食堂リレートーク



みんなが「来て良かったな」と思える食堂に

①松の実みんなの食堂／社会福祉法人 唐崎福祉会(松の実保育園) 大津市

子ども食堂をやっていてどうですか？

● 松の実保育園園長
松井さん

社会福祉法人の使命として、地域とともに支え合い、育ち合っていく手掛かりのひとつでもあります。参加している子どもたちは、家で同じ料理を作ってみたり、次回を楽しみにしていたりと、イキイキしている姿を見るのがうれしいです。

● スタッフ 小川さん

スタッフも試行錯誤しながらやっていますが、地域の方も「こんなやってみたらどう？」

というんなことを教えてくださいます。学ぶことが多く、我々大人も子どもと一緒に成長させてもらっています。

● スタッフ 山浦さん

来られた方に「来て良かったな」と思ってもらいたいです。子どもたちには、クイズや遊びを通して「食べる」ことに興味をもってもらえるように工夫しています。“作る”“味わう”をわかりやすく楽しみ、くつろげる、そんな食堂にしていきたいです。

どんなメニューを出しているんですか？

毎回、保育園の職員から提案してもらったり、料理が得意な職員のアドバイスをもらったりして、「みんなで作れる季節のメニュー」を大事にしています。とある回はホットプレートでシーフードパエリア、炊飯器でチョコバナナケーキを作りました。アレルギーのある子どももいるので、配慮して作っています。

松の実みんなの食堂では、毎回スタッフ手作りの「つくりかた」を用意しています。1枚ずつ手書きのイラスト付きで、子どもたちだけでも協力して読み合い、料理の工程が簡単にわかるようにしています。ラミネートもしているので何度も使えます。

こわってどうしているんですか？

スタッフ

職員3人(1人は子ども食堂担当職員)と、毎回だいたい5人は来てくださる地域のボランティアの方々で運営しています。もともと地域の人が集う「松の実サロン」という高齢者サロンを開催していて、そこで子ども食堂を始めるとい話をすると知り合いの方にも声をかけてくださり、より多くの方に参加していただけるようになりました。90歳のおばあちゃんが子どもたちに包丁の使い方を教えてください、今ではみんな

とっても上達しました。

地域へのよびかけ

基本的には、年間スケジュールを記載したチラシを自治会の回覧板で回していただいたり、支所にもチラシを置いていただいています。

また、それを見て参加して下さるボランティアさんもおられます。

食材

野菜は、近所の方から提供していただくこともあります。畑を持っているボランティアさんが



持ってきてくださることもあるので、季節の野菜をたっぷり使うメニューを考えることが多いです。調味料等は、参加費の中で購入しています。

取材メモ

子どもたちは、「つくりかた」を見ながら、大人に見守られて自分たちで一生懸命つくっていました!



【子ども食堂Data】

- 開催日時：月1回 土曜日
- 開催場所：松の実児童クラブ(大津市高砂町)
- ごはん代：子ども100円 大人300円
- スタート：平成31年1月～





Ⅲ. 子ども食堂リレートーク

(じいちゃん、ばあちゃん、子ども)

子どもは地域の宝。JBCみんな来てね!

②りんりんJBC食堂 / りんりんちょボラ 竜王町



赤佐 九彦さん

子ども食堂をやっていてどうですか?

● 代表 赤佐さん

自然とつながりができて、日ごろから声をかけあう関係ができてきました。一方通行ではなく、互いに“ありがとう”が循環しています。学期の始・終業式の給食がない日の開催は、お母さんお父さんから大変喜ばれます。

● スタッフ 村田さん

とにかく自分も楽しい!この食堂のメンバーは、みんな自分たちがやりたくて、楽しんでやっています。子どもたちの「おいしいわ〜!」が本当にうれしいです。

● スタッフ 川部さん

スタッフの皆さんが快く来てく

れていることが心強いです。最初から心配しているよりも、「まずやってみよう!」「ダメだったらその時に修正したらいいや」という気持ちで一歩すすんでみるのが大事かなと思います。

● スタッフ 木田さん

普段接することのない年齢の人たちが同じ場所にいること自体が素敵だなと思います。ここは私にとって“第二の故郷”ともいえる場所であり、いろんなことを一緒にできる仲間がいるということがうれしいです。

どんなメニューを出しているんですか?

いつも、メンバー数人で考えて、地域の食材を生かして“子どもたちに伝えたい”伝統料理を出すように意識しています。季節の伝統行事にも触れてもらいたくて、冬には餅つきや七草粥などを計画しています。



これってどうしているんですか?

スタッフ

林地区のボランティアグループ「りんりんちょボラ」のメンバーが中心です。元自治会長や民生委員、また男性陣もたくさん参加しています。「りんりん」は、「林(りん)の隣(りん)近所の助け合い」という意味で、地域みんなで子どもたちを支えたいという思いで、毎回快くたくさんの方が協力してくれています。

参加者

その名の通り、地区のJ(じいちゃん)B(ばあちゃん)C(子ども)が誰でも参加できます。小学生、幼稚園・未就園児親子、じいちゃんばあ

ちゃん、スタッフ、みんなあわせて毎回60人ほどになります。

集団登校の時に子どもたちにチラシを渡しているのですが、最近は、子どもたちが学校でお友達に声をかけているようで、他の地区の子どもたちも参加するようになりました。

会場

竜王町地域おこし協力隊と地域が力を合わせて空き家を改修し、「学び」や「支え合い」の場として生まれた「ひだまり学舎」で実施しています。普段からいろんな団体や人が集う場所で、誰でもふらっと寄りやすいところが魅力です。

食材

野菜、果物、お米は、地域の住民が畑でとれたものを持ってきてくれるのでとてもありがたいです。とある日は、ハウスで育てたトマトをいただき、栄養満点のトマト煮込みをおいしくいただきました。

取材メモ

男性陣のスタッフ参加がとても多く、子どもたちが楽しめるように段取りよくお餅つきをすすめておられました!



【子ども食堂Data】

- 開催日時：学校給食のない日(年10回程度)
- 開催場所：ひだまり学舎(竜王町林)
- ごはん代：子ども無料、大人200円
- スタート：平成29年3月～





Ⅲ. 子ども食堂リレートーク



中村新さん

中村静江さん

中高生もお手伝い! 子どもも親も、みんなが主役

③子どもカフェあおぞら / 子どもカフェあおぞら 東近江市

子ども食堂をやっていてどうですか?

● 中村新さん

はじめは、「やりたい」ということをとにかく地域のいろいろな人に喋りました。普段の地域の井戸端会議の中から始めるイメージでやるとうまくいくのではと思います。2か月に1回のペースですが、すっかり地域で定着してきた、まちで出会ったときに子どもたちが「子ども食堂のおっちゃん!」と声をかけてくれることが嬉しいです。今では、子ども食堂が終わる時間になってもお父さんお母さんたち同士が話で盛り上がり、なかなか帰らないこ

とも多いです(笑)。ナナメのつながりの中で子どもが育っていく良さを実感しています。

● 代表 中村静江さん

子ども食堂が人と人をつなぐハブになっていると感じています。これまでバラバラだった人がつながり、地域に誰が住んでいるのかが分かるようになってきました。枠にとられない、自由な形での「空間・時間・仲間」(3つの間)を地域でもっと豊かにしていきたいですね。不安なことは考えず、喜び楽しむことです!

どんなメニューを出しているんですか?

毎回季節にあわせたメニューを考えています。恒例になっているのは、秋のサンマやマツタケご飯! 地元の市場の人をお願いをして食材を仕入れてもらうこともあります。子どもたちが楽しめるように、流しそうめんやヨモギ餅づくり等もしています。

1月は、子どもたちや親御さんにお茶を体験してもらおうと、地元の先生にも協力してもらって本格的な「お茶会」を開いて、いろんな作法を学びながら楽しみました。

これってどうしているんですか?

会場

スタートした時は、地域の人たちが安心して来られるかなと思い、地域のボランティアさんたちにも協力してもらって自宅で開催していました。はじめは30人ほどだったのが、参加する子どもたちがどんどん増えて家の敷地内ではおさまらなくなり、コミュニティセンターを使うことになりました。毎回の利用料には苦労しましたが、社協やまちづくり協議会、市にいろんな場面で話をしていたところ、子ども食堂の必要性について理解をいただき、H31年4月からは無料で使えるようになりました。毎回の会場代がかから

なくなったのは、運営上非常にありがたいことです。

スタッフ

スタートした時から、普段のつながりの中でみんなが快く手伝ってくれています。またスタッフのつながりの中から、クラフトの得意なボランティアや、紙芝居ボランティアが来てくれていて、子どもたちの“遊び”を見守ってくれています。また、子どもカフェあおぞらでは、子どもたちが主体的に参加するということを大切にしています。地元の中生や、小学校の頃に参加していた卒業生が、受付や準備、食器洗い、後片付けを積極的に手伝ってくれて大変助かっています。

資金面

ありがたいことに、続ける中で地域のロータリークラブや日赤奉仕団が応援してくれるようになり、それらの助成金などをうまく活用しながらやっているの持ち出しはほぼありません。県社協を通じての寄付(商品券など)もうまく活用しています。

呼びかけ

小学校の下校途中に案内チラシを配ったり、子どもカフェあおぞらのLINEを作り情報を流しています。学校の先生、学童保育所、学習塾にもお知らせしているので理解が得られやすいです。

中学生もTシャツを着てお手伝い!



【子ども食堂Data】

- 開催日時: 奇数月第2土曜
- 開催場所: 南部コミュニティセンター (東近江市沖野)
- ごはん代: 子ども100円、大人200円
- スタート: 平成29年3月~





滋賀からのメッセージ

「この子らを世の光に」

これは、今から50年前、糸賀一雄が、共に生きる地域をつくっていく実践の思想として私たちにつないでくださったことです。

私たちの目の前にいる子どもたち。ひとりのもれもなく彼らはかけがえのない存在であり、その笑顔は無縁社会といわれる世の中にやさしい光を注ぎ、子ども食堂に集まってくる子どもが発するやさしい光が、さまざまな人たちをつないでくれます。

滋賀県では、平成26年9月、糸賀一雄の活動のことはある「自覚者が責任者」との思いに共感する民間福祉関係者によって滋賀の縁創造実践センターが設立されました。

「だれがおめでとうと誕生を祝福され、ありがとうと看取られる地域」をめざし、制度の対象になる、ならないではなく、生きづらさを抱えながら支援が届いていない人に福祉の関係者同士がよりそい地域のなかでその人を支えていこうと、居場所をつくり、支援を届ける活動をはじめて5年目となりました。それぞれの地域で課題に気づいた人びとが縁でつながり、共生社会へのうねりが起こりはじめています。

「遊べる・学べる淡海子ども食堂」の活動は、滋賀の縁創造実践センターのリーディング事業として推進しているもので、今、滋賀県内には90か所を超える子ども食堂があります。学区内で実行委員会を組織されたり、ボランティアグループや福祉施設が中心になって開設されるなど、地域のなかで手作りの運営をされています。

台所の音、ごはんのにおい、よそゆきでなくあたたかさに満ちたことがけ
ごはんをつくってくれる人、いっしょに食卓を囲む人、あそびを教えてくれる人。

子ども食堂には、子どもたちへのあたたかいまなざしと可能性を育む支援が豊かにあります。そしてここでは働く世代も、高齢者世代も、子ども世代も皆が活動の主役です。

全国津々浦々で、さまざまな家庭状況や背景を抱えた子どもがほんとうにうれしい気持ちになれる居場所が豊かにひろがり、地域の人びとがまさに「地域里親」として子どもたちの笑顔を育ててくださるコミュニティをつくっていきたいと思います。

子ども食堂が地域食堂として発展していくよう、気づいた者がともに実践しようではありませんか。

※平成29年2月10日 「子ども食堂全国交流会inしが」において滋賀から発信したメッセージです。

ちよこつと活動紹介★

子ども食堂で“防災”を学ぶ

災害時には、普段から地域で取り組んでいることが活きます！

子ども食堂の中には、「もし自分たちの住む地域で災害が起こったら…」と、子どもたちと一緒に“防災”について考える機会をつくっている食堂も増えています。防災グッズ作りや防災クイズ、会場から避難場所までの避難経路の確認など、楽しみながら学べるさまざまな取り組みがあります。

地域のみんが参加している子ども食堂だからこそ、できることを考えてみませんか。

こども食堂「元気っ子広場」



長浜市社協の職員から災害に関する話を聞いたり、新聞紙や紙で「防災スリッパ」を作ったりしました！



子ども食堂ひがしっこ



新聞紙でおわん作りをしたり、お母さんたちと一緒に非常食を作る体験をしたりしています。

アモーレ子ども食堂



子どもたちの発案で、地震が起こった時の身の守り方を練習しました。



滋賀の子どもをみんなで抱きしめましょう！

令和2年2月15日現在、
スポンサーは
団体 404 名
個人 61 名に
ひろがっています

子どもの笑顔

はぐくみプロジェクト

子どもを真ん中においた地域づくりをさらにすすめるための応援団をつくるプロジェクトです。さまざまな背景を抱えた子どもたちが、ほんとうにうれしい気持ちになれる居場所がひろがり、子どもたちの笑顔をはぐくむコミュニティをつくりましょう！

－プロジェクトの目指すところ－

- ① 子どもを真ん中においた地域づくり
- ② 「遊べる・学べる 淡海子ども食堂」の安定的・継続的な運営をサポート
- ③ 地産地消で食育・子どもの健康づくり
- ④ 虐待から子どもを守る
- ⑤ 児童養護施設で暮らす子どもたちの社会への架け橋づくり

小学校区に少なくとも一つの子ども食堂(300ヶ所)があり、3,000事業所、30,000人の人びとが子どもの笑顔をはぐくむ活動に集い、
3億円の基金(モノやお金)が応援団として集まり、
みんなで滋賀の子どもをハグする！

こんなすてきな滋賀を共につくりましょう！

「子ども食堂」などの子どもの居場所の運営等を応援して下さる「子どもの笑顔」のスポンサー」を募集しています。

子どもを真ん中においた地域づくり
“子どもの笑顔”の
スポンサー
募集!!

対象

本プロジェクトの趣旨に賛同し、仲間になってくださる方、どなたでも

登録

本プロジェクトのホームページからご登録いただくか、下記までお問合せください。

サポート
－例－

食材、備品、場所の提供、ボランティア…
企業・事業所、団体や個人のみなさまの
できること、なんでもOK！

問合せ
申込み

滋賀の縁創造実践センター

社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会

〒525-0072

滋賀県草津市笠山7丁目8番138号 県立長寿社会福祉センター内

TEL：077-567-3924 FAX：077-567-5160

EMAIL：shiga-hug@shigashakyo.jp

ホームページはこちら！



<http://shiga-hug.jp>



核となる母体をつくること。問題意識を持っている方は多くいるはずなので、協力を広く呼び掛けるとよいと思います。

菩提寺「すくすく食堂」【湖南市】



相談先一覧

子ども食堂についてのご相談は、お近くの社会福祉協議会へ！

● 県内社会福祉協議会一覧

(令和2年2月現在)

社協名	〒	住所	電話番号
大津市社会福祉協議会	520-0047	大津市浜大津4丁目1番1号 明日都浜大津5階	077-525-9316
彦根市社会福祉協議会	522-0041	彦根市平田町670 彦根市福祉センター別館	0749-22-2821
長浜市社会福祉協議会	526-0037	長浜市高田町12-34 さざなみタウン3階	0749-62-1804
近江八幡市社会福祉協議会	523-0082	近江八幡市土田町1313 市総合福祉センター内	0748-32-1781
草津市社会福祉協議会	525-0041	草津市青地町1086番地	077-562-0084
守山市社会福祉協議会	524-0013	守山市下之郷3丁目2番5号	077-583-2923
栗東市社会福祉協議会	520-3015	栗東市安養寺190 総合福祉保健センター内	077-554-6105
甲賀市社会福祉協議会	528-0005	甲賀市水口町水口5609番地 水口社会福祉センター内	0748-76-3287
野洲市社会福祉協議会	520-2423	野洲市西河原2400番地 野洲市北部合同庁舎2階	077-589-4683
湖南市社会福祉協議会	520-3234	湖南市中央一丁目1番地 社会福祉センター内	0748-72-4102
高島市社会福祉協議会	520-1121	高島市勝野215番地 高島市役所高島支所2階	0740-36-8220
東近江市社会福祉協議会	527-0016	東近江市今崎町21番地1 東近江市福祉センター ハートピア内	0748-20-0555
米原市社会福祉協議会	521-0023	米原市三吉570番地 米原地域福祉センターゆめホール内	0749-54-3105
日野町社会福祉協議会	529-1602	日野町河原一丁目1番地 日野町勤労福祉会館内	0748-52-1219
竜王町社会福祉協議会	520-2552	竜王町小口4番地1	0748-58-1475
愛荘町社会福祉協議会	529-1313	愛荘町市731番地 福祉センター愛の郷	0749-42-7170
豊郷町社会福祉協議会	529-1161	豊郷町四十九院1252	0749-35-8060
甲良町社会福祉協議会	522-0244	甲良町大字在土357番地1 甲良町保健福祉センター内2階	0749-38-4667
多賀町社会福祉協議会	522-0341	多賀町多賀221番地1 多賀町総合福祉保健センターふれあいの郷内	0749-48-8127
滋賀県社会福祉協議会	525-0072	草津市笠山七丁目8-138 県立長寿社会福祉センター内	077-567-3924

遊べる・学べる淡海子ども食堂 ガイドブック ★改訂版

令和2年(2020年)3月発行 (初版:平成30年6月)

【発行】滋賀の縁創造実践センター 社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会

【企画・編集】遊べる・学べる淡海子ども食堂推進委員会

【問合せ】滋賀の縁創造実践センター 社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会

〒525-0072 滋賀県草津市笠山七丁目8-138

Tel 077-567-3924 Fax 077-567-5160 E-mail shiga-hug@shigashakyo.jp

HP <http://shiga-hug.jp>

子どもの笑顔はぐくみプロジェクト

検索